



金透小



令和7年 9月 4日(木) 学校だよりNo.26

発行責任者 校長 嶋 忠夫

学校の主役は、子どもたち一人一人です!

先日、6年生に、卒業まであと7か月、どんな金透小学校にしていきたいのか、話を聞きました。

さすが6年生の子どもたちです。次々と自分の思いを発表していきました。「みんなが笑顔で生活できるようにしたい。そのために、悩みを相談し合えるようにしたい」「みんなで信頼し合い、なかよくしたい」「金透小は明るいあいさつ日本一をめざしたい」「一人一人が輝き、みんなが輝く学校にしたい」「歴史に残る、伝説になる1年にしたい。そのために新しいことに挑戦したい」「思いやりあふれる学校にしたい。学校の友達だけでなく、地域の方やだれにでも思いやりのある行動ができる金透小にしたい」「勉強だけでなく何でも精一杯力を入れてがんばる学校にしたい」など、6年生の思いが出されました。



そして、そのような学校にするにはどんなことができるか聞いてみると、「異学年交流を充実したい。下級生と一緒に遊びながら、意見を聞きたい」「児童会活動を活発にしたい。委員会同士がコラボした活動はできないかな」「金透フェスタを、学年の絆を深める行事にしたい」「あいさつは自分たちの姿を下級生に見せていきたい」「あいさつ講座をしてはどうだろう。全校集会や動画配信でやってみたいな」「みんなでごみ拾いをしたい。みんなで楽しくごみ拾いをするイベントができないかな」「金透池を掃除して、みんなが親しめる場所にしたい」など、次々とアイディアが出されました。

最後に、感想を聞くと「これからの金透小をどうしていくか、課題が共有できた。次は行動に移していきたい」「前よりももっといい学校にしたいという気持ちが深まった」「新しいことに挑戦して、新時代をつくっていくのが楽しみ。みんなで話し合って楽しかった」など主体的に学校生活を自分たちの力で創っていかこうとする意欲が感じられ、頼もしく感じました。これから、どのぐらい行動に移していけるか、子どもたちを応援していきたいと思います。学校の主役は子どもたち一人一人です。

ちょっといい話。。

8月29日に、安積幼稚園の年長組の皆さん19名が学校見学に来ました。1年生は、先輩として学校生活の様子を分かりやすく幼稚園のお友達に説明していました。準備していた原稿だけでなく、幼稚園の子どもたちの反応を見て、自分が思ったことを話している1年生もいて、驚きました。1年生もすっかり学校に慣れて、がんばっています。すごいぞ! 1年生!

